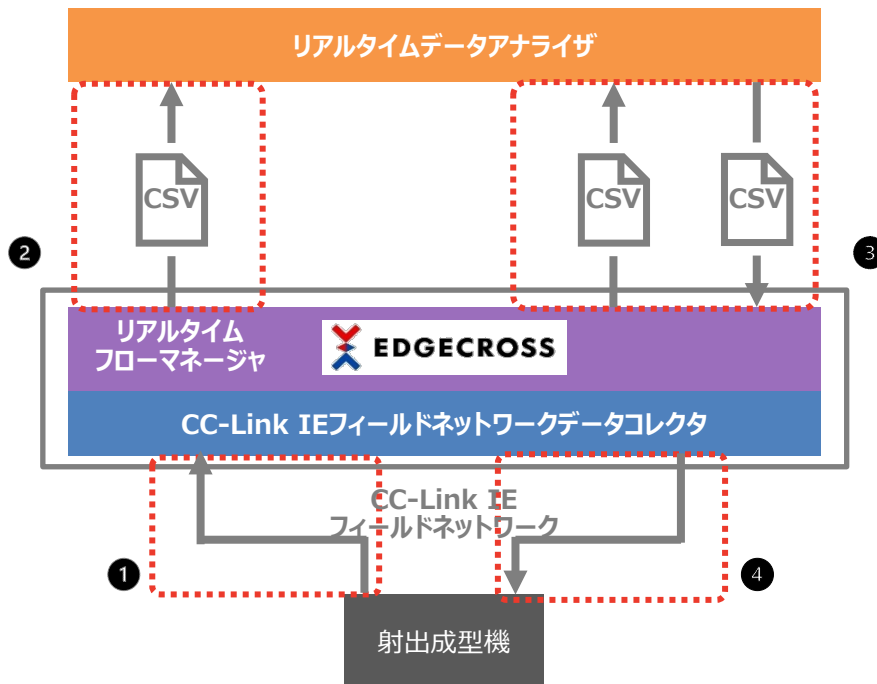


用途： データ分析 品質管理

Point

- 射出成型機の各種データと不良の関連性を分析し、不良発生の予兆とらえる診断ルールを作成。
- 生産時に発生するデータを診断ルールを基にリアルタイムに診断し、不良発生を未然に防ぐ。

システム構成



- 1 CC-Link IE フィールドネットワークデータコレクタを使い、CC-Link IE フィールドネットワーク経由で射出成型機からデータを収集する。
- 2 リアルタイムフローマネージャが、収集したデータをCSVファイルに出力。リアルタイムデータアナライザ使い、CSVファイル内のデータを分析する。分析結果から、不良予兆発見の診断ルールをする。
- 3 リアルタイムデータアナライザは、リアルタイムに収集されるデータを診断ルールに基づいてリアルタイムに診断し、不良発生の予兆をとらえる。診断結果はCSVファイル経由で、リアルタイムフローマネージャに渡す。
- 4 診断結果データをCC-Link IE フィールドネットワーク経由で、生産現場にフィードバックする。

■使用している認定データコレクタ製品（製品名のクリックで詳しい情報がご覧になれます）

- [CC-Link IE フィールドネットワークデータコレクタ（三菱電機）](#)

■使用している認定エッジアプリケーション製品（製品名のクリックで詳しい情報がご覧になれます）

- [生産現場の品質向上、予防保全を実現するデータ分析・診断ソフトウェアリアルタイムデータアナライザ\(三菱電機\)](#)